

## 2020年度第2回8月期定例番組審議会議事録

1. 開催の日時 2020年8月
2. 開催の場所 各委員に資料を郵送して番組をお聞きいただき、  
意見・感想を返信してもらう形式で開催
3. 委員の出席 委員総数9名  
返信総数9名

出席委員名	委員長	増田仲夫
	委員	竹内明子
	委員	河又弘子
	委員	白幡冬彦
	委員	古口 悟
	委員	藤澤 勝
	委員	富田哲夫
	委員	小祝章二
	委員	大森玲子

### 4. 議 題

#### (1) アクセント

「～戦後75年 もう一度、戦争と平和について考えてみよう～」について

プロデューサー	川島育郎
ディレクター	加藤拓也
アナウンサー	篠田和之

#### (2) その他

## 5. 議事内容

### (1)) アクセント

「～戦後 75 年 もう一度、戦争と平和について考えてみよう～」について

プロデューサー

川島育郎

番組視聴：放送した番組を各委員に送付して試聴していただいた

議題説明：戦後 75 年、戦争体験の記憶は薄れつつある現状、戦争の記憶を伝えていくため、鹿沼市在住で「戦争体験を語り継ぐ会」主宰の稲葉幸枝さんの語りや戦争体験者 3 名のインタビューを織り交ぜながら、篠田アナウンサーと稲葉さんが対談し、平和についての想いを伝えていく構成としました。

各委員からは、

- 戦争とその悲惨さを体験を通して目のあたりにさせたこの企画は、とても良い。アナウンサーが流暢で感情移入や臨場感があり引き込まれる感じがした。ゲストも歯切れよく聞き取りやすかった。体験者の声をもっと多く入れてほしい。このような番組は今後、文章化、映像化させて、訪問授業など積極的に進めてほしい。
- 平和を考える今の時代、この時期に大切に、適切で良い企画だった。体験者 3 人のインタビューをもっと増やしたほうがより切実に聞こえるのではないかな。最後の体験者の言葉は重く響くもので、このような方の言葉をより多くの人に聞いてほしい。
- 戦争経験者の肉声を聞ける機会が極めて少なくなってきている。生の声を記録継承するのはメディアの責務で音声や映像のデータ化を進めてほしい。稲葉さんは客観的な立場で穏やかに落ち着いているのが好印象だった。アナウンサーは肩に力が入り過ぎて違和感があった。体験談が武勇伝に変化してしまっているように感じる部分もあり、アナウンサーが軌道修正する必要があったのではないかな。
- コロナで大変な世の中といたつつも、戦時中のことを思うとまだ平和な世の中と考えさせられた。焼夷弾を手で投げる、中学で銃の教育を受けるなど今の世の中では考えられないことが聞けて、心に染みた。戦争経験者の声についてしっかり語って、受け継いでいってほしい。
- 体験者の話は、身につまされる思いだ。祖父母から聞いていた当時の話を思い浮かべることが出来た。語り継ぐ会を支援して、メディアが訴え続けることが風化させることなく後世に伝える一番の手段だと思う。栃木放送と教育現場とで議論することも風化させない取り組みになるのではないかな。

- 改めて県民一人一人が何をしなければならないか、考えさせられる番組だった。若者や学生にもわかりやすく説明しているのが良かった。広島や長崎を観光地としてでなく現地で何かを感じてほしいとの問いかけはこの番組の神髄と感じた。出前授業の際の子供たちの生の声を紹介できると良かった。こうした番組を小中学校に提供して、授業に活用してもらおう提案をしてはどうか。
- 節目としてこの時期のこうした番組は有意義で良かった。体験者が少なくなくなる中では、稲葉さんの活動は極めて有意義なので、文集を朗読する方がもっと説得力があったのではなか。アナウンサーの話も多く、思い出が出過ぎて逆に伝わらなかったような気がする。稲葉さんのほかにも風化させないような活動は県内にあるので、紹介してもらえると良かった。いずれこうした話を生で聴くことが出来るので、どのように引き継いでいくかが課題だと思う。
- こうした時期に戦争や平和について思いを巡らす機会を提供する企画は大変意義のあるものと感じた。戦争体験を語り継ぐ活動が地道に続けられていることを知り、県内に広がっていくと良いと思う。番組は活動の紹介に引きずられている印象が強く、体験談を本人の口からもっと引き出すことに力を入れた方が良かった。
- 戦争体験を語り継ぐ会の活動をアナウンサーが丁寧に引き出していてわかりやすかった。学生リスナーがいることを想定した配慮があり、聴きやすくわかりやすい構成だった。学校の教材になると思うので、ライブラリを作成して文集と合わせて貸し出しが出来ると良いと思う。今後も体験者の今の気持ちを多くの人に伝えていただきたい。

当社としては、これらの意見をもとに、今後の番組制作や広報に取り組んでいきたい旨を、各委員に伝えた。

(2) その他

6. 審議内容

上記の通りであり、特に審議決定し、答申すべきものはなかった。

7. 番組審議会の答申および意見の概要の公表

① 社の番組「栃木放送からのお知らせ」

(2020年9月20日(日) 午前8時5分放送)

② 社のホームページに掲載(2020年9月18日～)

③ 社事務局に議事録備え置き(2020年9月18日～)

以上